

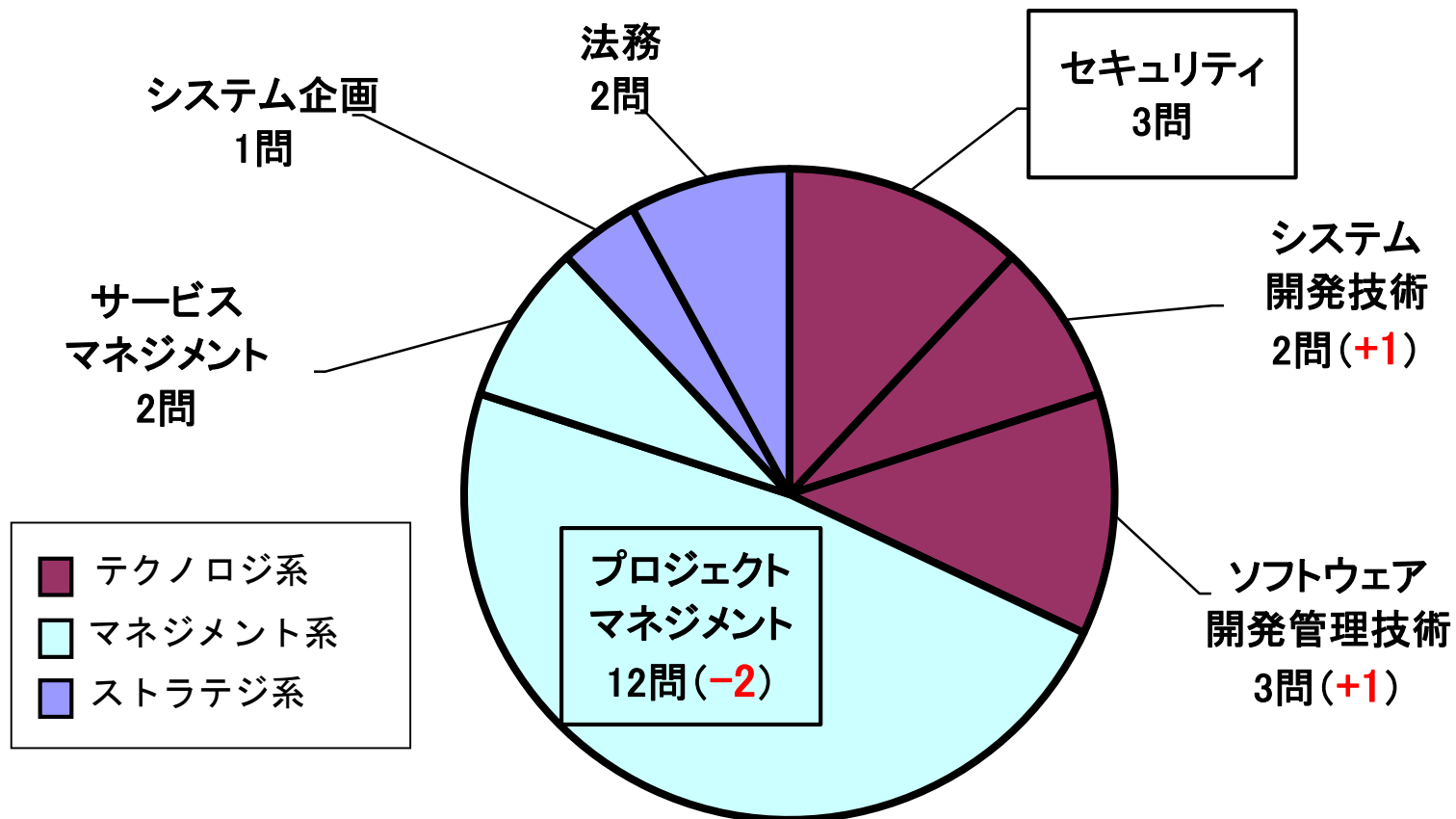
令和5年度 秋期試験 プロジェクトマネージャ(PM) 出題傾向分析

TAC株式会社



PM 午前Ⅱ 分野別出題数

- 出題比率に変化
- 「プロジェクトマネジメント」から12問(48%)



PM 午前Ⅱ 特徴と難易度

- ・ プロジェクトマネージャ試験からの再出題 **8問**
 - 昨年よりも**新作問題が増えた**
プロジェクトマネジメント分野 12問中**7問が新作**
 - 出題年度 **2回前(2問)～9回前** 年度の偏りなし
- ・ 計算問題6問中3問が新作→**時間的難易度：高**
 - 図や条件の把握と計算が必要
ページ全体に及ぶ問題が3問もあり、内容把握にも時間を要する
- ・ **PMBOKからの出題無し**（前回に続いて）
 - JIS Q 21500からは 4問

⇒ **時間的難易度：かなり高い**

PM 午前Ⅱ 新テーマとセキュリティのテーマ

- ・ **プロジェクトマネジメント分野の新規問題**
 - **アジャイル宣言の背後にある原則**に照らした適切な教訓
 - JIS Q 21500から プロジェクト全体計画の作成の目的,
スコープの定義, ステークホルダのマネジメントの活動
 - EVM: 完成時総コスト見積り(EAC)の計算
 - **プロジェクトバッファ**を含めた全体の所要日数計算
 - **ファンクションポイント数**の計算
- ・ **その他の分野の新テーマ**
 - スクラムのルール, テクニカルプロセス, プロバイダ責任制限法
- ・ **セキュリティ分野のテーマ** PMから1問
 - **ISO/IEC 15408** 新作
 - デジタルフォレンジックス 新作
 - 脆弱性検査手法 ファジング (PM2020年)

PM 午後 I 特徴と難易度

- ・ 午後 I 全体
 - 3問とも**適応型(アジャイル型)開発アプローチ**の問題
 - **心理的安全性・自律的なマネジメント**が連続出題
 - 協力会社とのイコールパートナーシップ
より良い対等な共創関係を探求
 - 知識問題 **OODAループ**, **成果完成型**など
 - 問題文のボリュームにあまり差はない(4～5ページ)
 - 解答数も差はあまりない 7～10
- 難易度: 問1, 問2: 標準的 問3: やや高め
全体的としてみると**標準的**

PM 午後 I 各問題の特徴と難易度(1)

- ・ 問1 ITベンダーが他社と新会社を設立し、独自の体験価値を提供するシステムを開発する状況
 - プロジェクトチームのマネジメント
 - ・ 心理的安全性, 自律的なマネジメント
 - 解答のまとめ方に悩む設問はあるが、解答の根拠はきちんと提示されている。
- ・ 問2 適応型開発アプローチへのシフトを準備する状況
協力会社とのイコールパートナーシップ
 - 知識問題が出題
 - ・ OODAループ, 回復力, 成果完成型, インセンティブフィー
 - 解答のポイントを見つけにくい設問はあるが、解答の根拠はきちんと提示されている。

標準的

標準的

PM 午後 I 各問題の特徴と難易度(2)

- ・ 問3 化学品製造業での予兆検知システムの開発プロジェクト
 - － 構想・企画, プロジェクトフェーズについて問われる
 - ・ プロジェクトの目的説明に技術者全員を集めた狙い
 - ・ ITベンダーに依頼した支援の内容
 - ・ 要件定義メンバーに期待した役割
 - ・ フェーズごとの特性
 - － 解答の根拠を見つけにくい設問があり, 3問の中では, 難易度がやや高め

やや高

PM 午後Ⅱ 特徴と難易度

- ・ 2問とも統合マネジメントからの問題で、どちらも事例には制限がある問題
- ・ [設問ウ]の「今後の改善点」は今回もなく、それぞれ異なる論点が求められた
- ・ [設問ア]の論点が多い
 - － 問1, 問2ともに3つの論点
 - ・ 「特徴」ではなく「プロジェクトの目標, 独自性」
 - ・ 論点を漏らさず, 800字に収まるよう, 注意が必要
- ・ 前回から試験対象者に加わったマネジメント業務の一部を分担している受験者にはより難しい

難易度: 高い

PM 午後Ⅱ 各問題の特徴と難易度

- ・ 問1 プロジェクトマネジメント計画の修整(テーラリング)
 - 計画時にプロジェクトの独自性を考慮して修整したマネジメント QCD以外のプロジェクトマネジメントの対象に限定 参照にしたマネジメントの方法の修整 高い
 - 修整の有効性をモニタリングした方法やモニタリング結果と評価, 対応が求められた点が難しい
- ・ 問2 組織のプロジェクトマネジメント能力の向上につながるプロジェクト終結時の評価 高い
 - 評価の対象: 目標未達成に限定
マネジメント能力の向上と結びつく目標未達成の経緯・原因
 - 設問ウの論点: プロジェクトマネジメントの観点で立案した再発防止策, 定着させる工夫

PM 今後の対策 午前Ⅱ

- 重点分野「プロジェクトマネジメント」と「開発技術」を中心に学習することが効果的
 - ・ 規格類(JIS Q 21500)は必ずチェック
 - ・ PMBOK第7版:モデル・方法・作成物に重点をおく
※午前Ⅱの出題はないが, 午前ⅠでPMBOK第7版が出題
- 過去問題演習で重要テーマや主要論点を把握
 - ・ 2回前(令和4年秋)から9回(平成27年春)前までを幅広く
 - ・ 丸暗記ではなく要点の理解を
- 計算問題の対策:過去問題で計算問題の解き方を習得
- 「セキュリティ」は重点分野だが技術レベルは3
 - ・ PMと応用情報(AP)の過去問題で学習を

PM 今後の対策 午後 I

学習方法は従来どおりで

- プロジェクトマネジメント学習後の**過去問演習**
問題文で説明されているプロジェクトの特徴や目標を踏まえ、その状況でのPMとしてふさわしい対応
- 主要テーマについて過去問題演習を繰り返し、基本的な考えやノウハウを吸収
- 変化を前提とするプロジェクト
自律的なマネジメント、イコールパートナーシップ
アジャイル型開発 基本的事項の学習が必要
⇒ **アジャイル型開発の学習 + R2年以降の過去問演習**

PM 今後の対策 午後Ⅱ

- プロジェクト事例を事前に用意する
 - ・ プロジェクトの概要(特徴, 目標, 独自性),
 - ・ マネジメントの基本的な流れを理解する問題点と対応策をセットで準備
- 直近10回の試験で出題されたマネジメント
 - 1 統合, 2 リスク, 資源, 品質, ステークホルダ, スケジュール
- 設問ウの論点がそれぞれに異なる論点の場合
 - ・ 今までよりも設問ウに時間がかかる
 - ・ 論述設計時間の短縮化, 手書きへの慣れ ⇒ 論述演習
- 用意した事例を論点に応じてカスタマイズする練習
 - ・ マネジメント分野ごとの基本的な流れを理解
 - ・ マネジメント分野ごとの手法やキーワードを整理
- 設問要求に合っているかを必ずチェック